



国の風しん対策 実践セミナー

～風しんから社員と お客様を守るために～



厚生労働省

Ministry of Health, Labour and Welfare

ひと、くらし、みらいのために

健康局

結核感染症課

健康課予防接種室

企業運営のリスク・マネジメント

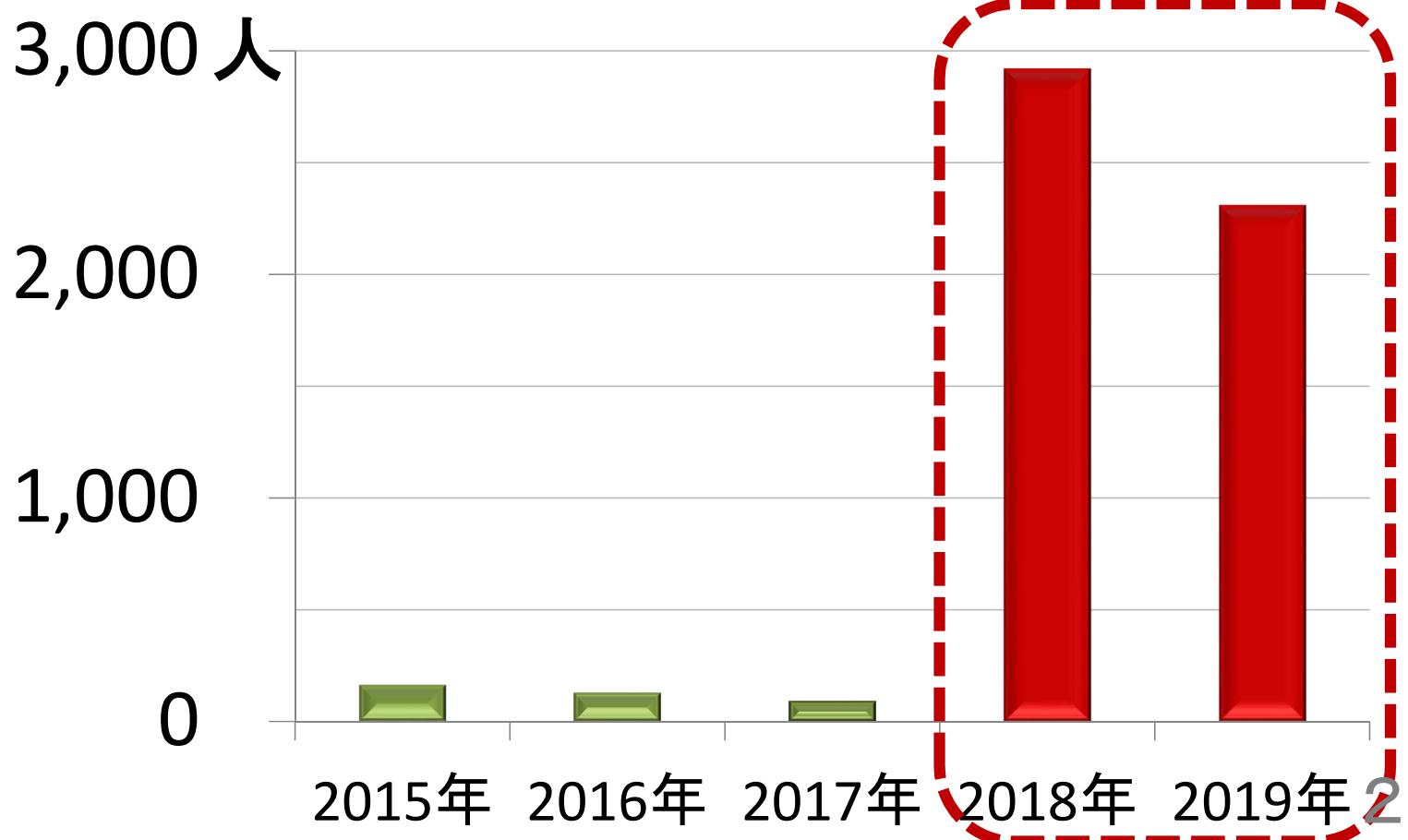
例えば、

- ・新規事業の進展
- ・取引先との関係性
- ・地震などの有事の際の対応

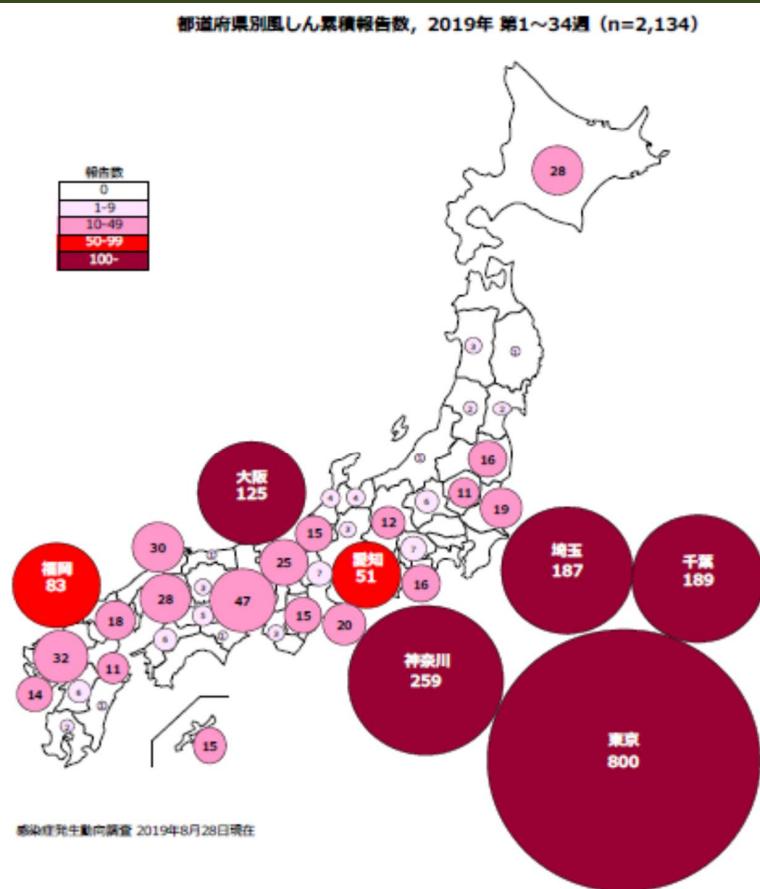
・社内の感染症

特に、『風しん』という感染力の
強い感染症

風しん患者数が増加中



中心は大都市圏



【要約】
推定される感染源は、職場が最多。
職場内で複数名の発症が認められたことも。

【原文】推定感染源

推定感染源は、2,134人中、特に記載がなかった者が1,597人(75%)と最も多く、不明・不詳・情報なしと記載された者が168人(8%)であった。

また、何らかの記載があった男性283人の内、職場/会社の同僚/上司・職場/会社で流行・仕事等、「職場」と記載があった者が168人で最多で、この内21人は、職場内で流行あるいは複数名の発症が記載されていた。

職員が風しんに感染した場合

例えば、突然のお休み!?

⇒他の職員による業務のフォロー

例えば、家族、他の職員、取引先に感染拡大!?

⇒感染拡大へのリスク対応

参考

(株)キヤタラーでは、客先等への訪問自粛、来訪の取りやめ依頼、創設記念式典、各種講演会のイベント中止等の対応がとられた。

リスクが高い理由

- ・インフルエンザよりも強い感染力。
- ・発疹や発熱等の**自覚症状**がなくても感染が拡大

4

特に深刻なケース



先天性風しん症候群 (CRS)

- ・特に**妊娠初期**に感染した場合に出生兒に高確率※で生じる障害。
 - ・先天性**心疾患**、**難聴**、**白内障**が三大症状。
- ※妊娠1ヶ月で50%以上、
2ヶ月で35%、3ヶ月で18%

出典元：国立感染症研究所

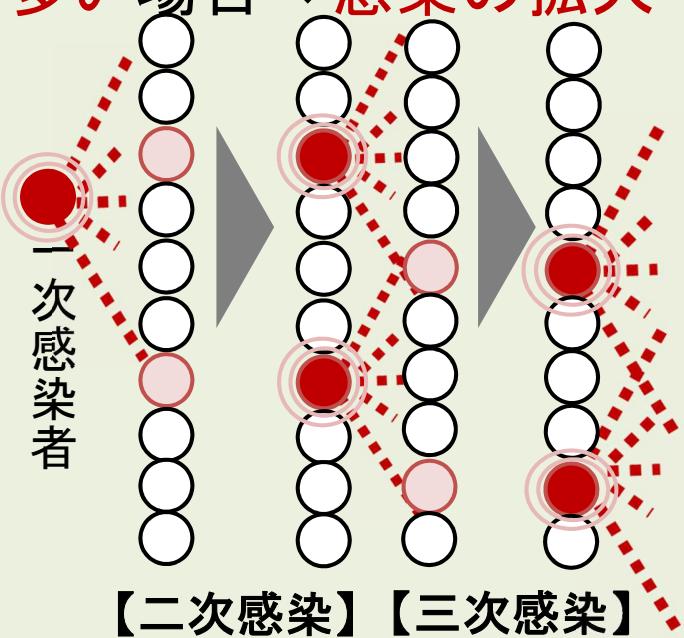
先天性風しん症候群の児に見られる主な症状



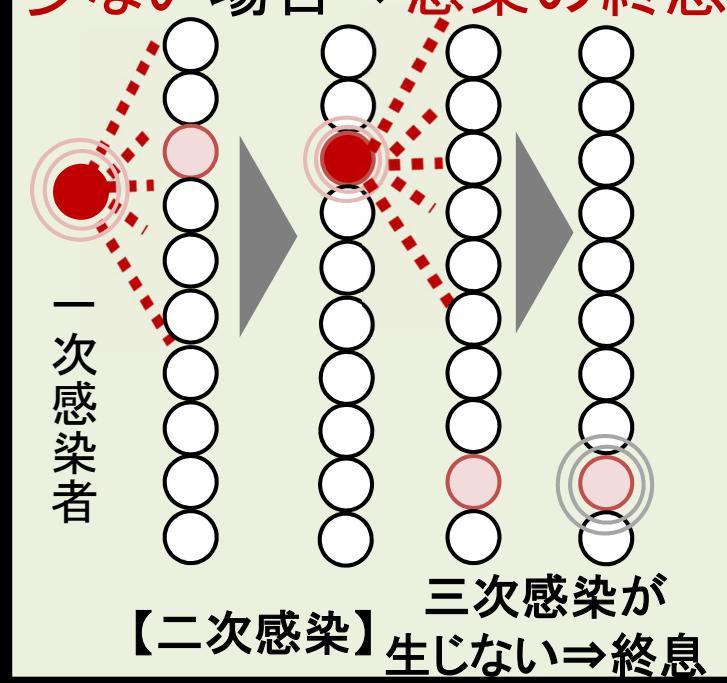
5

感染拡大のメカニズム

免疫を持っていない方が多い場合→感染の拡大



免疫を持っていない方が少ない場合→感染の終息



● 感染者(うつす) ○ 免疫がない者(うつる＆うつす)
○ 免疫がある者(うつらない＆うつさない)

6

風しんへの感染リスクを減らす方法



7

風しんワクチンの接種の歴史

予防接種の

導入前(風しんが蔓延していた時代)

⇒ 風しんへの**自然感染&治癒により
免疫を獲得**していた世代

予防接種の

導入後(風しんが蔓延していない時代)

⇒ 風しん**ワクチンの接種により
免疫を獲得**している世代

8

風しんワクチンの接種の歴史

ポイントは予防接種の『導入直後』の世代
～女性だけに定期接種をしていた時代～

その世代の男性は

- ・ワクチンを受けることもなく
- ・自然感染&治癒することもなかった

そのような方が一定数存在。

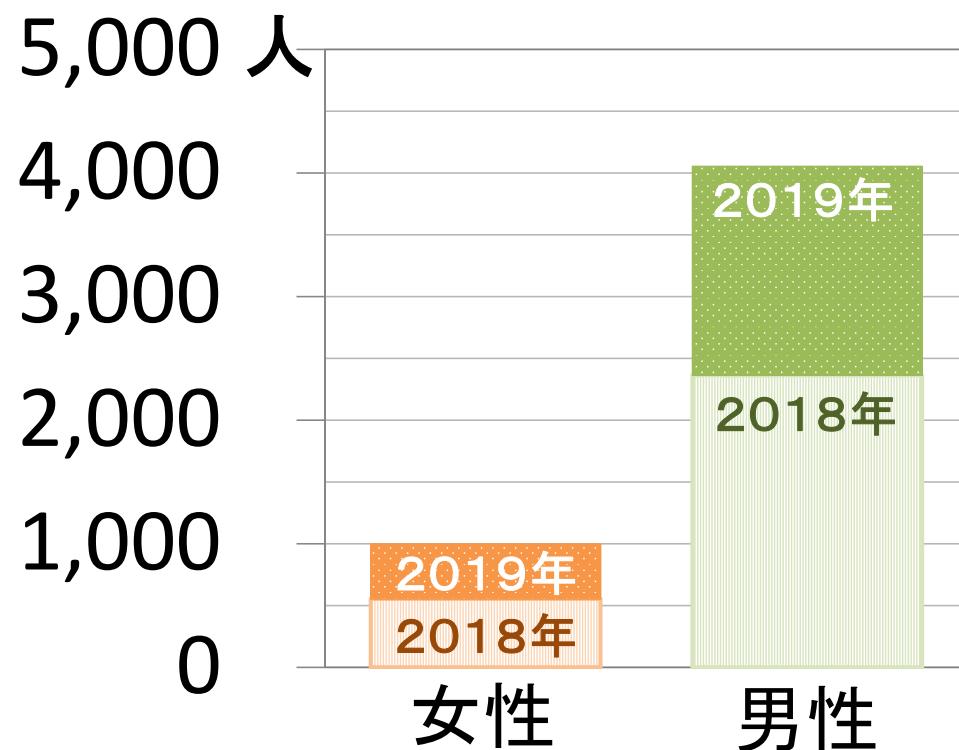
⇒風しんへの免疫がない方が他より多い。

⇒つまり、**感染を拡大させやすい世代。**

それが4月現在41歳～58歳の男性

9

風しん患者の発生状況



特徴その1

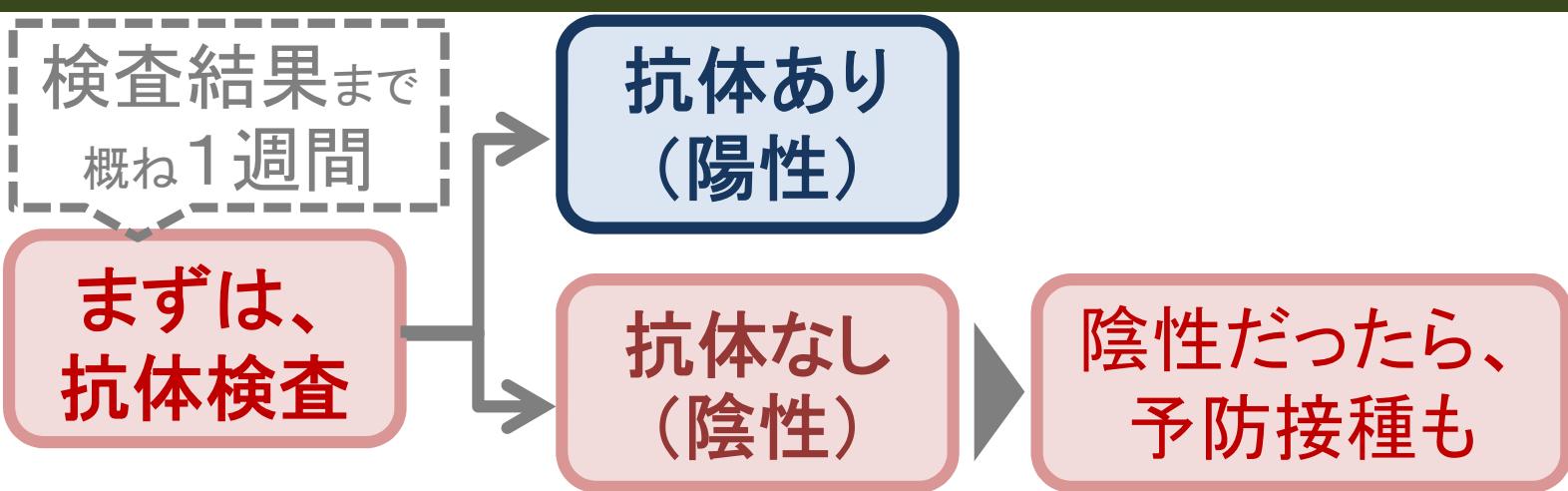
昨年以降、
男性が中心

特徴その2

男性患者の
約半数が
40～50代

⇒患者の特徴が女性だけに定期接種を
していた世代と重複 ←ココが要点!

国の風しん対策（3年間限定）



- 4月現在40歳～57歳の男性を対象
- 全国で抗体検査・予防接種を原則無料で受けられるクーポン券を送付。
- 健診でも利用可能なクーポン券

企業の皆様へのお願い

【目標】

2020年7月までに
480万人に検査

【現状】
2019年11月末で
109万人に検査

対象世代の男性は

40歳～50歳代。

- ・利便性をより高めるには、
企業の協力が不可欠。
- ・**企業負担なし**で風しん
対策を実現可能で、
企業側にも利のある話。

「自分のため」だけでなく、
「みんなのため」にご協力を。12